

項目番号	15	項目	宿題の質・量の工夫と見届け
学校名	本庄市立共和小学校		
タイトル	「こつぐんノート」と手引きの活用		

こつぐんカード

こつこつやって、ぐんぐん伸びよう!

『自主学习』って? どんなことをすればいいの??

国語 (書写、読解、調べ学習、日記、朗読、ニュースなどを見て意見交換、録音、録画、録音、録画) 算数 (計算、数値の理解、図表を見てこつぐんノートにポイントをとめる、授業で習ったことを家庭で復習) 理科・社会 (資料集や図鑑などで詳しく調べる、学習した大切なことを「こつぐんノート」にまとめる など) 家庭 (くわしく調べる、実際に家庭でやってみる など) これらはあくまでも例です。

また、テスト勉強として予習問題を解いてみたり、テストでまちがえた問題にもう一度挑戦したりするのもO.K.

☆☆☆教科、内容、回数など自分で決めて取り組もう☆☆☆

4月	5月	6月	7月	9月	10月
	53p	144p	208p	289p	
11月	12月	1月	2月	3月	学年

※学習する時間は、宿題をふくめて60分~90分をめやすにしよう!
 ※毎日、家の方にチェックしてもらおう! (日・サインまたはコメントをお願いします)

こつぐんノートは、家庭学習の取り組み (内容・量・ていねいさ等) によってノート1ページ単位でポイントがもらえます。(1ポイント=ポイント) 100ポイントためるごとに【こつぐんパス券】が1枚もらえます。
 【パス券】1枚で、こつぐんノートを1回分パスすることができます。
 さあ、1年間で何ポイント貯めることができるかな。

共和小学校 6年 ()

<学習の手引き>
 どのような内容に取り組んだらよいか分からない児童や保護者もいるので、簡単にまとめた『家庭学習の手引き』を配り、学習するガイドラインを伝える。

<児童のノート>
 内容の質 (丁寧さ・まとめ方・1ページの文字量・学校での学習を発展させている等の視点) により、教師はページごとにポイントを付け、ページ右上(※)にその累計を記入し、貯めていく。

理科 ※ (38)

〈支点から力点を(の)きりを変えよう〉

結果 ① が一番小さいカードに上げられた。

分心したと 支点から力点までの距離は短い方が簡単に持ち上がる。

変えるもの…力点

変えないもの…おもりの重さ・作用点

条件制御

〈支点から作用点までの(の)きりを変えよう〉

結果 ② が一番小さく感じられた。

分心したと 支点から力点までの距離は短い方が簡単に持ち上がる。

変えるもの…作用点

変えないもの…力点・おもりの重さ

条件制御

③ (3) は力点を支点から遠ざけた(変えたり)作用点に近づけると、手たがいが軽くなり、小さいカード重いものを持ち上げられる。

自主学习(社会) ※ (39)

出生 一北条時頼の子
 生没年 一因へ1289年
 職業 一鎌倉幕府の執権
 性格 一決断が速く意志が強い。

15才のとき鎌倉幕府の8代執権(將軍を助ける役目)となつた。九州に中国を支配していたモンゴルの元という国の軍が2度もせめてくるが武士を集めて戦い元軍を退けた。

元軍の兵士VS日本の武士

鎌倉時代の中ごろ大軍を率いた元軍が九州にせめてきた。元軍は日本とはちがう武器や戦い方で日本の武士をおどろかした。

元軍の兵士と日本の武士のちがい

日本には強い元軍の武器は、日本にはない。

日本にはない元軍の武器は、日本にはない。

② 10月目標…「時間がおろそかまで、しっかりおこなうをしよう」

月/日	① 忘れ物 チェック	家庭学習の記録	読書(心の宝庫)	ポイント
		宿題の内容	自主学習した内容	分
10/25	なし	① 算数(代わり)の計算	なし	100
10/26	なし	② 漢字練習	なし	100
10/26	なし	③ 理科(浮力)	なし	100

<生活・学習カード作成>
 家庭学習した内容等を記入したカードは、毎日保護者と担任が確認する。

☆こつぐんノートパス券☆

このパス券で、「こつぐんノート」1ページ分を1回分パスすることができます。

- *この券は、本人(下の名前の人)しか使えません。
- *この券を使うときは、こつぐんカードに「パス券」の複製用と記入し、ノートにこの券をはさんで提出してください。
- *なくしても再発行はしません。
- *有効期限は、平成23年3月31日までです。

共和小学校 6年 ()

<ノートのパス券を発行>
 100ポイントを貯めるとパス券が1枚もらえるようにし、意欲が高まるようにした。

【成果】
 「こつぐんカード」を使つての取組により、今まで行つてきた家庭学習よりも児童は楽しみながら学習するようになった。また、1ページあたりの学習内容の質 (丁寧さ・まとめ方・文字量・学校での学習を発展させている等) の向上がみられ、進んで家庭学習するようになった。